

だんだん通信

2022
2 月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。



八幡支援学校による 商店街活性化の取組

京都府立八幡支援学校と連携し、男山団地中央センター商店街の活性化に取り組んでいます。高等部3年生の授業「職業」

では、生徒たちが商店街に足を運び、商店会長から商店の現状について話を伺い、商店街活性化の企画を練りました。生徒からは「商店に入るきっかけがない」「昭和のレトロな雰囲気を活かせないか」といった意見が

だされ、「写真展」と「レトロ市（フリーマーケット）」2つの企画を提案しました。

12月末、生徒たちが商店街の各店舗を再度訪れ、写真撮影とフリーマーケットの物品集めを行いました。

「若い発想で商店街を盛り上げて欲しい」と店主のみなさんは、高校生の提案に期待を寄せ、積極的に協力いただきました。

写真展は2月8日（火）から2月22日（火）まで、男山中央センター商店街内に（郵便局と京都銀行の間）仮設の展示スペースを設けて展示をします。

レトロ市については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮して開催を予定します。

商店街の日常 写真展

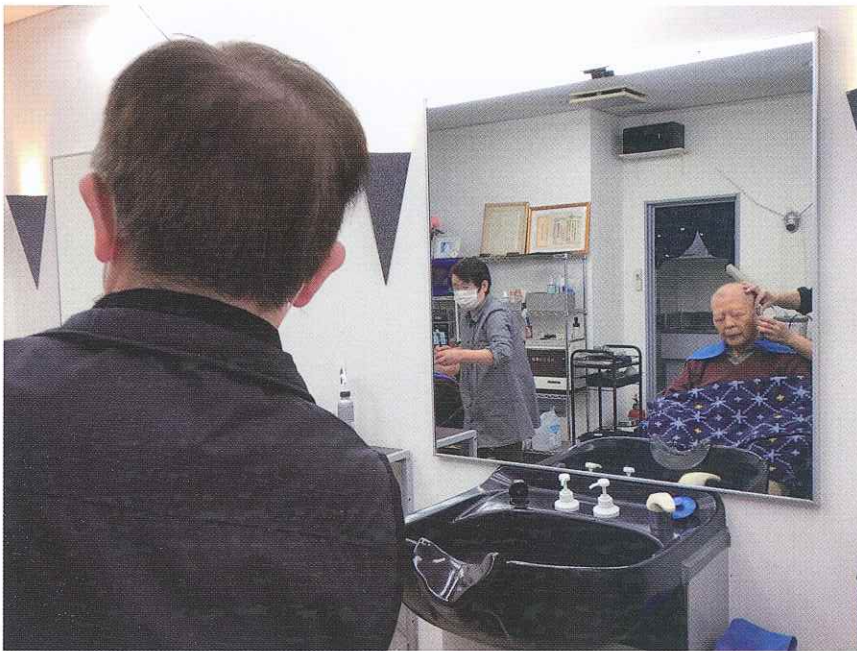
会期 2022年2月8日（火）2月22日（火）まで

会場 男山団地中央センター商店街内の仮設展示スペース

主催 京都府立八幡支援学校福祉総合課3年、

だんだんテラスの会

協力 男山中央センター商店会



だんだん 俳壇

入選句

第3回 松本直子 選

- 一 てぶくろや なつかしいもの ぼくのみち すぎむらともや
- 二 ふゆのそら あたたかさしる てぶくろよ 山田琉惶
- 三 ブランコに 小さなミトン 揺れにけり MIRUKA
- 四 椿咲く コロナの世にも かわりなく 麦子
- 五 母編みし 弓手や 何処 右手袋 爺爺
- 六 手をつなぎ 冬枯れを 行く 古い 二人 静香
- 七 さよならの 手袋振って いつまでも 麦子
- 八 二人居て 一人となりし 春の道 かつら
- 九 手袋を はずし 指切り 遠き日に 爺爺
- 十 忘れたきもの 握らせて 手袋置く 静



兼題：手袋ほか
応募数：44句
入選数：10句

講評

一. てぶくろや なつかしいもの ぼくのみち「ぼく」が歩んで来た道。「なつかしい」と思えるあなたに成長したことを、一緒に歩んで来た人は誇らしく思うでしょう。別れの季節。「さようなら」の句が他にもありました。どの句も題材がもつ、包み込むというイメージを、暖かく、切なく、そして力強く、見事に表現されておられて、それぞれの情景に魅了されました。コロナ禍だからこその「つながりたい思い」が寄せられていて、どの句にももう一度大切な想いを確認するようでした。素晴らしい四十四句でした。ありがとうございました。

関大×URRリノベーション住戸募集開始！

関西大学とURR都市機構が協働で設計したリノベーション住戸が2月5日（土）から12日（土）まで内覧、13日（日）に抽選募集を行います。今年度のリノベーション住戸は、「在宅ワーク」や「外とのつながり」がテーマとなり、コロナ禍における住まいのあり方を再考しました。ぜひ、現地をご覧ください。ご応募ください。



暮らしの中で働く住まい B29-504

VR バーチャルモデルルームは
スマホからお部屋をご覧ください！

切り抜く住まい D6-504

元の住戸は3部屋ありましたが、壁の一部を切り抜き開口にすることで、明るく開放的な空間にしつつプライベート空間を確保できる住戸としました。切り抜いた壁は「南北の抜け」を残し、気候の良い時期には気持ちの良い風が住戸を通り抜けます。



暮らしの中で働く住まい B29-504

在宅ワークやフリーランスで働く人の増加を踏まえて、自宅の中に衣食住とは別で作業場や仕事場、おもてなしの場として利用できる土間空間を設けました。南北の居室を隔っていた北側の押し入れを撤去し、ワンルーム住まいとすることで南北に広がり生まれ、風通しの良く明るい居住空間となりました。



VRで興味をもった方は現地内覧へ！

■内覧期間 10:00 - 17:00

■申込受付 10:00 - 10:30

2.5 〈土〉 - 2.12 〈土〉 2.13 〈日〉

見守りサービス

初期費用補助で設置！

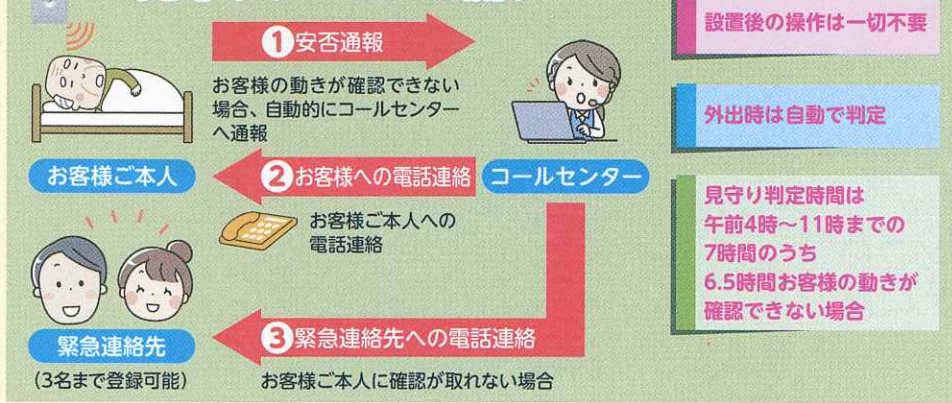
モニターを募集！

見守りサービス内容に関するご相談は
生活支援アドバイザーまで！
管理サービス事務所窓口にて対応しています！

UR 都市機構は、UR 賃貸住宅居住者の高齢化に対応するため、平成 26 年 9 月に事業者から見守りサービスの提案募集を実施し、立山科学（株）をパートナー事業者として選定いたしました。
見守りサービスは、お住まいの壁や天井に設置したセンサーによりお客様の動きが確認できないとき※1、コールセンター（UR 都市機構パートナー事業者：立山科学（株））からお客様に電話確認をし、必要に応じて緊急連絡先へご連絡するサービスです。関西大学団地再編プロジェクトは、見守りサービスの導入にかかる初期費用 7249 円（税込）を補助し、※2 モニターを先着 10 名募集します。今後の見守りサービスのあり方について検討を行います。導入を検討されている方はぜひこの機会にご応募ください。

※1 午前 4 時から午前 11 時までの 7 時間のうち、6.5 時間お客様の動きが確認できない場合。 ※2 月額 990 円（税込）はモニター負担。

見守りサービスの流れ



- 募集人数：10 名（先着）
- 応募資格：
 - ① UR 男山団地にお住まいの方（応募時点）
 - ② 設置後のアンケート調査にご協力いただける方
- 応募方法：
 - ① 氏名 ② 住所 ③ 年齢 ③ 電話番号を明記の上、下記の宛先まで、郵送、電話もしくは Email でご応募ください。
※採用された方には、後日こちらからご連絡をさせていただきます。
- 宛先：『UR 男山団地見守りサービスモニター募集係』宛
住所：〒614-8373 八幡市男山八望 3-1B47-104
Eメール：dandan.terrace@gmail.com 電話：080-4244-8952
- 応募締切：2022 年 2 月 25 日（金） ※10 名に達した場合は募集を終了します。
- お問い合わせ：だんだんテラスの会 担当：辻村（080-4244-8952）

応募締切
2/25（金）

主催：関西大学団地再編プロジェクト 協力：だんだんテラスの会、一般社団法人カンデ、UR 都市機構

第四回だんだん俳壇を通じて「出会い」を広げよう！



QR コードから
ネット投句ができます！

お 題：だんだん通信の表紙の写真から発想してください。
記載事項：①俳句、②氏名又は俳号、③電話番号（選句発表の際、内容確認の為に使用）
締 切：3 月 25 日（金）まで
提 出 先：だんだんテラスに設置する投句箱若しくは「だんだん俳壇」web ページまで。
選句発表：次号のだんだん通信に掲載



2 新型コロナウイルス感染症の流行によりだんだんテラスでは感染拡大を防ぐために活動を制限しています。

朝 10 時からのラジオ体操

日 時：毎日 10:00～
場 所：男山団地中央センター商店街

毎月 8 日だんだん手作り市

日 時：毎月 8 日 10:00～15:00
場 所：男山団地中央センター商店街

やってみよう会議

日 時：2 月 19 日（土）13:00～15:00
場 所：だんだんテラス・ラボ
申 込：不要

だんだんフォーク

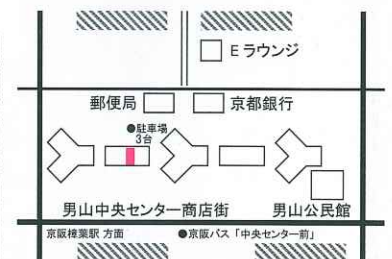
主 催：フォークソングチーム
日 時：毎月第 2・4 日曜日 13:30～16:00
場 所：だんだんテラス

だんだん読書会

日 時：3 月 7 日（月）14:00～15:30
場 所：だんだんテラス
参加費：100 円

だんだん句会

主 催：だんだん句会
日 時：毎月第 3 水曜日 13:30～16:30
場 所：だんだんテラス



住 所：京都府八幡市男山八望 3-1 B47-104
男山中央センター商店街
アクセス：京阪バス「中央センター前」下車
Eメール：dandan.terrace@gmail.com

だんだん通信 2 月号

発行日：2022 年 2 月 5 日
発行元：だんだんテラスの会
編 集：辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト